

# 平成29年度 事務事業評価シート

基本情報									
事業コード	56			事務事業名 (予算事業名)	市有管理財産事務事業 (市有管理財産事務事業)				
予算科目	会計	1	款	15	項	10	目	30	

計画 (Plan)										
計画体系	基本計画	4	計画の推進				根拠	法令(国)	地方自治法	
	政策	1 2	スリムで効率的な行政運営の実現					法令(県)		
	施策	4 2	効率的で健全な行財政運営の推進					市条例	上天草市財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例	
事業開始		平成17年度				その他	上天草市公有財産管理規則 他			
目的・目標 (何のために)		市有財産の適切な維持管理を行うとともに、効率的な運用や処分を行うことで、効率的な行財政運営に資することを目的とする。								
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①		市有財産の管理・運用・処分を実施する。また、各課が所管する共済保険事務を総括する。								
対象者 (誰に対して) …指標②		市有財産 (普通財産・行政財産、物品等)、市民								
手段・実施方法 (どのようにするか)		市有財産の現状を適切に把握し、適切に維持管理し、場合によっては貸付・売却する。保険会社と共済保険 (車両・建物) を適切に締結する。								
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④		市有財産を適切に維持管理することは、市の利益に直結する。								

実施 (Do)										
指標 / 年度				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
				(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	(予算)		
	ハ指標	①	活動指標ア	単位	目標値	760	550	554	541	0
			共済加入件数	件	実績値	547	554	541	0	0
		②	活動指標イ	単位	目標値	9,260	9,745	9,060	9,398	0
			維持管理事業費	千円	実績値	9,821	8,168	9,009	0	0
		③	対象指標ア	単位	目標値	8,882	9,017	9,017	9,017	0
			公有財産	千㎡	実績値	9,017	9,017	9,017	0	0
		④	対象指標イ	単位	目標値	400	400	401	401	0
			普通財産使用者	件	実績値	401	401	401	0	0
		⑤	成果指標ア	単位	目標値	9,260	9,745	9,060	9,398	0
			維持管理費	千円	実績値	9,821	8,168	9,009	0	0
		⑥	成果指標イ	単位	目標値	0	0	0	0	0
			使用件数	件	実績値	0	0	0	0	0
	⑦	上位成果指標ア	単位	目標値	9,260	9,745	9,060	9,398	0	
維持管理費		千円	実績値	9,821	8,168	9,009	0	0		
⑧	上位成果指標イ	単位	目標値	0	0	0	0	0		
	使用件数	件	実績値	0	0	0	0	0		
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
			県支出金	千円						
			地方債	千円						
			その他	千円	9,795	8,168	2,795	9,369		
			一般財源	千円	25		6,214	29		
	事業費計(A)			千円	9,820	8,168	9,009	9,398	0	
	人件費	正規職員従業者人数	人	0	0	0	0	0		
		延べ業務時間数	時間	0	0	0	0	0		
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0		
	トータルコスト(A)+(B)			千円	9,820	8,168	9,009	9,398	0	

事務事業名	市有管理財産事務事業	部	総務企画部	課	監理課	係	公共施設マネジメント係
-------	------------	---	-------	---	-----	---	-------------

**評価 (Check)**

**評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価**

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 本事業の成果は、市の効率的な財政運営に資するものであり、施策体系に結び付いている。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 公有財産を適切な管理をするために、公費を投入するのは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 対象を、市有財産（普通財産・行政財産、物品等）、市民とするのは妥当である。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 普通財産の管理において、人手が足りないため、管理用の人夫を雇用することで成果水準を上げる余地がある。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 公有財産の管理業務は、市として必ず行わなければならないため、廃止はできない。また、普通財産が増え続けている現況で活動量を削減することはできない。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 本事業で、普通財産の管理のための人夫を雇用する、もしくは、本事業で人夫を雇用するのは難しいかもしれないが、他課の人夫が普通財産の管理にも協力してくれるのであれば、業務能率は向上する。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 普通財産が増え続ける中、必要最低限の費用で実施しており、これ以上削減の余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 普通財産の管理のために人夫を雇用すれば、職員の業務時間は軽減する余地がある。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 公有財産の維持管理を目的とする本事業の性質上、受益に関する課題はなく、見直しの余地はない。

**評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）**

全体総括（振り返り、反省点）  
本市において、適切な財産の維持管理と不要な財産の利活用・売却は喫緊の課題となっているが、業務量の関係もあり、現在より大きな成果を上げることは困難である。  
職員もしくは人夫の増員を視野に入れる必要があると考える。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入		成果	コスト		
本市においては、ファシリティマネジメントの重要性は年々増しており、市有財産の適切な維持管理と利活用を行うには職員の知識向上及び人員増強が必要であると考え。			削減	維持	増加
向上	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策  
今後の上天草市におけるファシリティマネジメントの重要性を鑑みると、財産管理において高い実績を上げるには、人員の増員が必要である。